



イベントのご案内

第20回

Summer Concert

2019年

7月18日(木)

18:45~20:00

会場 1階外来ホール

指揮:澤崎 一了
ピアノ:中村 文香
司会:ウィッキーさん



第1部 関中コーラス部

♪ホームソングメドレー《日本編Ⅱ》
早春賦/赤とんぼ など

第2部 ハンドベル(職員有志)

♪曲目は当日のお楽しみ

第3部 スペシャルゲスト

1)バイオリン演奏:

重松 次郎昌幸(麻酔科部長)

滝 真樹子(関中職員)

♪愛のあいさつ/見上げてごらん夜の星を/星に願いを

2)歌:大瀧 賢一郎(ソングライター、テノール歌手)

♪曲目は当日のお楽しみ

第4部 関中コーラス部

♪美しく蒼きドナウ/モルダウ(交響詩我が祖国から)
など

榊会からのお知らせ

関東中央病院糖尿病患者の会「榊会」例会と糖尿病教室開催のお知らせ

日時:7月18日(木)

場所:関東中央病院2階講堂

・糖尿病教室:午前10時~12時

代謝内分泌内科の水野部長が、月刊「さかえ」から毎回、糖尿病に関する重要テーマやトピックスを解説します。

・昼食:栄養管理室考案の美味しい糖尿病食をご提供し、レシピを配布、解説します。

・体操:阿出川栄養管理室長が、15分程度のフレイル予防に役立つ体操を指導します。

・榊会例会:午後1時~2時

今回は、年1回のお楽しみ、糖尿病すごろく(トスガニアン)大会です!皆さんふるってご参加下さい。

その他、10月5日(土)から6日(日)に開催される榊会研修一泊バス旅行についてご案内します。

(糖尿病教室申込方法)

内科外来カウンターで申込書を受け取り、必要事項を記入し、7月12日までに会計窓口にて申込んで下さい。参加費(医師の講義と昼食代込み)、一般1620円(税込)、榊会会員1080円(税込)

■トピックス

6月9日(日)に開催された「東京都糖尿病協会 2019年度歩く会 新宿御苑」にご参加戴いた皆様、誠に有難うございました。

お蔭様で雨にも降られずに新宿御苑を散歩して戴き、フランス庭園のバラを堪能しました。

染谷泰寿先生によるカラーパンフレットを使つての青空教室で糖尿病の知識を深め、管理栄養士・運動療法士の方々の熱心な演技もあり、最後は楽しく歌で締めました。

(榊会) 児玉・生田目・二馬担当

「榊会」に入会希望の方は、例会当日に会場でお申込みいただくか、ご自身の連絡先住所・電話番号を記載の上、葉書で下記にお申込みください。

〒158-8531 東京都世田谷区上用賀6-25-1

関東中央病院 榊会 宛て

(文:会長 児玉 豊)

消防訓練を行いました

5月31日に消防訓練が行われました。当院ではいざという時に備えて、年に2回の訓練を行っています。

今回の訓練では特に4月の新入職員を中心に、出火場所の確認、初期消火、消防への通報、避難誘導と一連の流れを訓練しました。講義を受けた後、患者さんの容態に応じた搬送方法を学んで実践し、玉川消防署の指導による初期消火なども訓練しました。



また、地震や火災などの災害時、エレベーターが使えない状況下で、高齢者や障害者など歩行困難な方を階段でも移送できる避難用具「キャリダン」を使っただけのデモンストレーションも行われました。



第7回 救急医療交流会開催

救急医療交流会は、当院と世田谷区内の救急隊との連携を図るために定期的に開催されています。

6月10日に開催された今回も、近隣の救急隊員のみなさんがご多忙の中、多数ご参加くださいました。

前半は循環器内科の杉下医長による講演「当院における救急循環器疾患の治療～急性心筋梗塞とCCUnetを中心に」、後半は搬送ルールの確認や、気になった事例や要望等を報告し、意見を交わす情報交換会が開催されました。

救急隊と当院の医師等が直接やりとりし、情報を共有することで、互いの理解を深めて信頼関係を深めることができました。

看護の日イベントを開催しました

毎年5月12日は「看護の日」と定められています。また、12日を含む週の日曜日から土曜日までは「看護週間」とされ、全国各地で看護にちなんださまざまなイベントが開催されています。

当院では少し早目の5月10日に看護の日イベントを行いました。今回は、来院された患者さんの血圧と体脂肪を測定し、参加された方に喜んで頂きました。(看護部)



正面玄関前で行ったため、多くの患者さんに立ち寄っていただきました



管理栄養士による栄養相談も好評でした

「看護の日」制定の趣旨

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に制定されました。市民・有識者による「看護の日の制定を願う会」の運動がきっかけでした。

5月12日の由来

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されました。1965年から、国際看護師協会(本部:ジュネーブ)は、この日を「国際看護師の日」に定めています。

STEP 豆知識

